

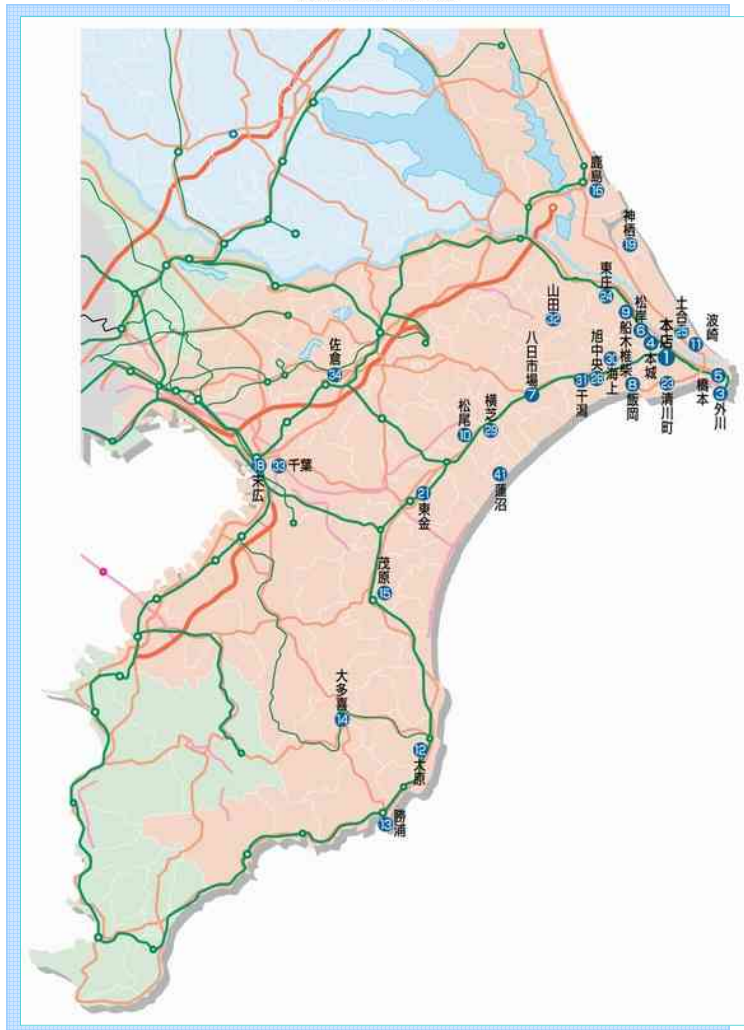
2006

8月号

ちょうしんきん

景況レポート

Economic Report of Sales Territory



1. 概況

全体の景況感（全29店舗）

	好転	不変	悪化
前月と比較して	2	27	0
今後3か月程度の見通し	3	25	1

【漁業】

銚子港当月の総水揚げ数量は19,804トン、前年同月比+10,048トンとなった。水揚げ金額は1,888百万円で、前年同月比+1,081百万円となった。イワシの水揚げが順調であり、数量・金額ともに前年同月と比較して、大幅に増加した。一方、サバの水揚げ数量・金額は前月から大幅に減少した。当月もイワシ漁の好調さが、目立つ状況であった。

【農業】

銚子地区のキャベツ、ダイコンは前月で収穫が終わり、当月からは、とうもろこし、スイカ、メロンの出荷が始まっている。日照不足の影響から生育の遅れにより、例年の8割程度の出荷量となっている。

【商業】

銚子駅前商店街において、核店舗百貨店「十字屋」の閉鎖以降、周辺バスルートの乗客が3割減に示されるように、客足の減少が続いている。廃止店舗の再活用が喫緊の課題であったが、京都市に本社がある「ジャパン・レジャー・サービスグループ」の購入が決定した。子会社である「松屋百貨店」（本社・東京都渋谷）での再開が決まったが、何時になるかが地元商店街の最大の関心事である。

【建設業】

民間工事における住宅需要は、前年と比較して増加が続いている。公共工事は前年以上に厳しく、他市、他県の入札を重視していかなければ、利益確保が難しい状況である。

【観光業】

銚子地区のホテル・旅館は、例年1番活気のある時期であるが、長雨、悪天候の影響で夏休みに入ったにもかかわらず、お盆以外は満室にならない状況である。しかし、最近では、高齢夫婦、少人数のグループ客が、3~7日直前の直前に予約を入れることも多くなっている。夏の観光シーズンであり、天候次第では売上回復の期待がかかる。

<業種別天気図>

全 体	漁 業	水産加工業	農 業	商 業
建 設 業	観 光 業	不 動 産 業	養 豚 業	自 動 車

（前月と比較した当月の各業種の景況感を天気図で表示してみました。）



2. 主要業種別動向

漁業・水産加工業

銚子港当月の総水揚げ数量は19,804トン、前年同月比+10,048トンとなった。水揚げ金額は1,888百万円で、前年同月比+1,081百万円となった。イワシの水揚げが順調であり、数量・金額ともに前年同月と比較して、大幅に増加した。一方、サバの水揚げ数量・金額は前月から大幅に減少した。当月もイワシ漁の好調さが、目立つ状況であった。

波崎港の総水揚げ数量はイワシを中心に10,235トンで、前年同月比+5,433トンとなった。水揚げ金額は797百万円で、前年同月比+395百万円となった。前月から水揚げ数量は約24%減少となったが、水揚げ金額はほぼ横這いであった。銚子港同様、イワシの水揚げが好調である。

勝浦港の総水揚げ数量は2,894トンで、前月同月比+1,729トンとなり、水揚げ金額は+278百万円となった。カツオ漁については、漁期の遅れから春先には高値で推移したが、当月に入って相場が急落した。漁場が北上するにつれ、宮城県の石巻港、気仙沼港などで、巻き網漁船が数百トン単位でカツオを大量に水揚げしているためである。

水産加工業は、夏場に入り製品価格が上がらず、サバ、サンマともに出荷不振の状況である。

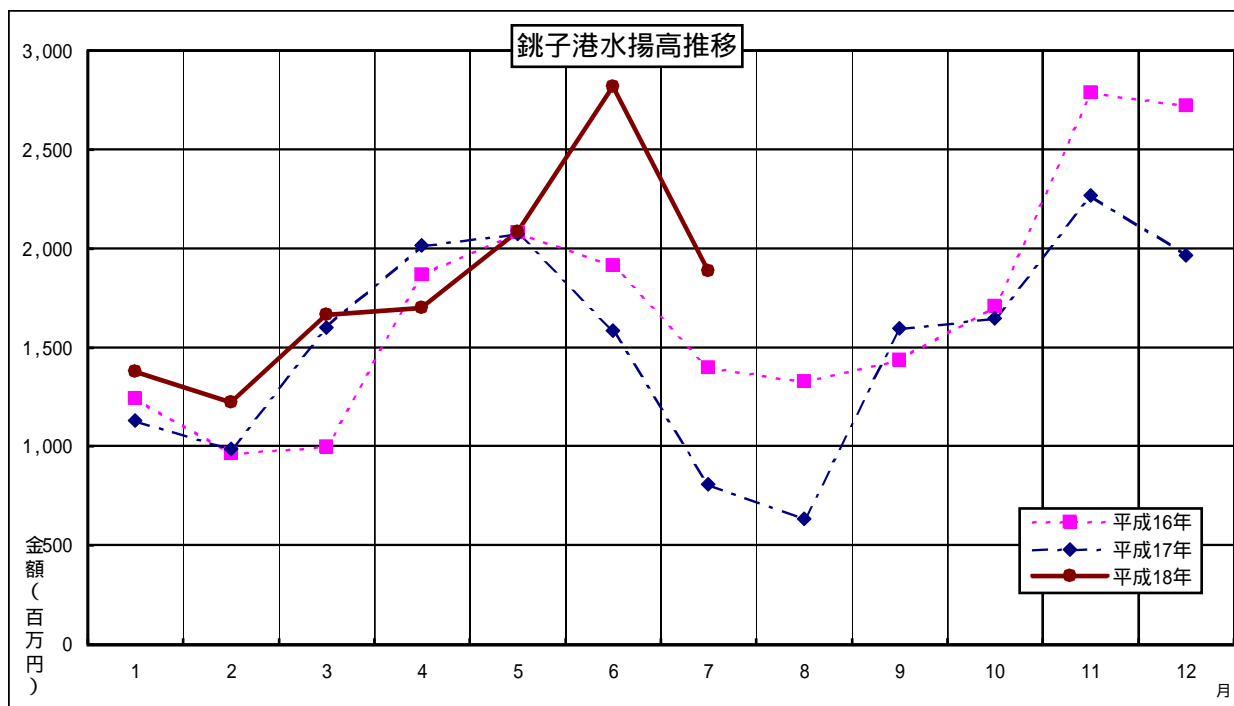
種類	区分	数量(トン)			金額(千円)		
		H18年7月	H17年7月	前年同月比	H18年7月	H17年7月	前年同月比
鰯		12,565	1,838	10,727	1,166,811	170,964	995,847
鯖		4,107	6,108	2,001	180,688	260,544	79,856
鰹		816	1,450	634	83,456	107,189	23,733
鰹・鯖		2,100	143	1,957	265,644	51,518	214,126
(内鰹一本釣)		67	14	53	8,606	2,860	5,746
秋刀魚		0	0	0	0	0	0
底曳		1	0	1	1,219	0	1,219
その他		215	217	2	190,230	216,055	25,825
合計		19,804	9,756	10,048	1,888,048	806,270	1,081,778

前月比	数量	72.68%
	金額	66.98%
前年同月比	数量	202.99%
	金額	234.17%

水揚げ日数



	H18年7月	H18年6月	前年同月
鰯	22日	24日	19日
鯖	10日	14日	10日
鰹	8日	11日	12日
鰹・鯖	16日	24日	9日
(内鰹一本釣)	2日	4日	2日
秋刀魚	0日	0日	0日
底曳	1日	15日	0日
その他	23日	26日	22日



農 業

銚子地区のキャベツ、ダイコンは前月で収穫が終わり、当月からは、とうもろこし、スイカ、メロンの出荷が始まっている。銚子地方気象台の観測データによると、過去30年の7月中の平均日照時間が172時間に対して、当月の日照時間は89時間となった。日照不足の影響から生育の遅れにより、例年の8割程度の出荷量となっている。

波崎地区のピーマンは、前年同月と比べ出荷量が3割程度減少となった。価格は上旬から中旬が50円～51円、下旬が95円～100円で推移した。当月下旬は、東北地方の出荷量の減少と植替えの時期が重なり高値を付けた。

飯岡地区のメロン農家では、5月の日照不足の影響から全体的には昨年より出来が悪かった。JAの検査をパスできず、安値で自主流通させる農家も見受けられた。大玉については数が少ないため、高値推移となった。

商 業

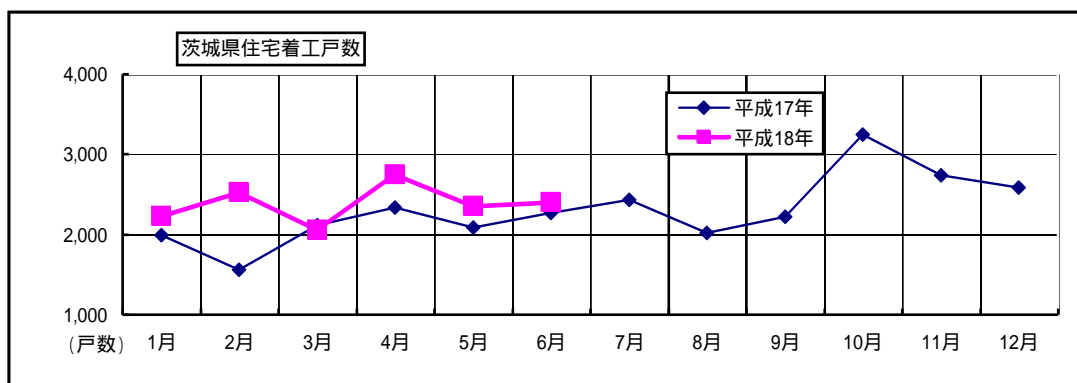
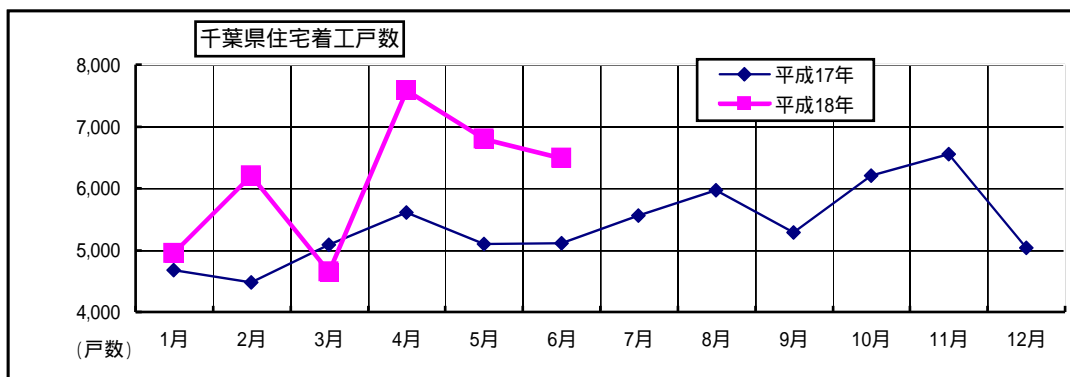
銚子駅前商店街において、核店舗百貨店「十字屋」の閉鎖以降、周辺バスルートの乗客が3割減に示されるように、客足の減少が続いている。廃止店舗の再活用が喫緊の課題であったが、京都市に本社がある「ジャパン・レジャー・サービスグループ」の購入が決定した。子会社である「松屋百貨店」（本社・東京都渋谷）での再開が決まったが、何時になるかが地元商店街の最大の関心である。

茂原青果市場（土地約10,000坪）の建物を9月中に取り壊し、「大規模小売店」5店舗「ファミリーレストラン」1店舗の大型商業施設の出店計画が進んでいる。

情報アドバイス
銚子商工会議所

建設業

千葉県・茨城県の住宅着工戸数は以下のとおり。



民間工事における住宅需要は、前年と比較して増加が続いている。公共工事は前年以上に厳しく、他市、他県の入札を重視していかなければ、利益確保が難しい状況である。原油価格高騰により資材の仕入単価や輸送費が上昇しており、収益の圧迫が依然として続いている。

観光業

銚子地区のホテル・旅館は、例年1番活気のある時期であるが、長雨、悪天候の影響で夏休みに入ったにもかかわらず、お盆以外は満室にならない状況である。しかし、最近では、高齢夫婦、少人数のグループ客が、3～7日前の直前に予約を入れることも多くなっている。夏の観光シーズンであり、天候次第では売上回復の期待がかかる。今後は、定年退職を迎えつつある団塊世代の取り込みが、これからの課題の1つでもある。

飯岡地区のつり船は、シリヤケイカが6年ぶりの豊漁であり、1日に200パイ前後釣るお客もいた。反面、6月から解禁となっている平目が不漁であった。全体的には、平目の不漁分をシリヤケイカで補うかたちとなった。

大多喜地区の観光業は、養老溪谷が人気を上げており、周辺の業者は好況である。

勝浦地区の海水浴客は、夏休みに入り増加が期待されるが、毎年減少傾向であり、財布の紐もかたくなっている。

情報アドバイス
銚子商工会議所

不動産業

土合地区

土合東にて、動物病院の建設が始まった。土合地区内では、初めての動物病院が開院される。

土合西にて、新たな分譲地の造成が始まった。

土合地区内合計世帯数

2,885世帯（2004年） 2,966世帯（2005年） 世帯伸び率2.81%増加

養豚業

当月の豚枝肉相場は、平均541円/kgで、前月比 31円（前年同月比+20円）で推移した。

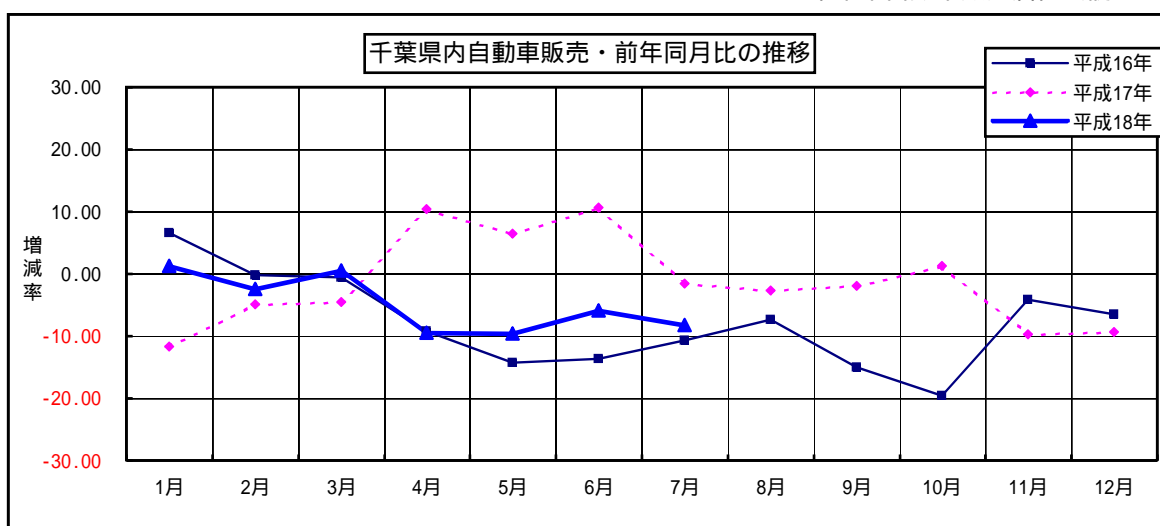
自動車ディラ

当月の千葉県内自動車販売状況は、15,045台で前年同月比8.29%の減少となり、4ヶ月連続で前年同月を割り込んだ。市場別ではRV市場が前年同月比17.6%大幅に減少し、貨物市場は前年同月比で約9.2%増加した。メーカー別の占拠率では、トヨタが46.2%の占拠率を確保し9ヶ月連続で40%の大台を確保した。また、ホンダが11.5%と81ヶ月連続で10%の大台を確保した。

千葉県内自動車販売状況（軽自動車を除く）

		当月	前月	前月比	前年同月	前年比
乗用	普通	5,044	5,383	93.70%	5,376	93.82%
	小型	7,425	7,206	103.04%	8,637	85.97%
	小計	12,469	12,589	99.05%	14,013	88.98%
貨物	普通	741	760	97.50%	608	121.88%
	小型	1,310	1,476	88.75%	1,376	95.20%
	小計	2,051	2,236	91.73%	1,984	103.38%
特殊等	特殊	396	351	112.82%	348	113.79%
	バス	129	63	204.76%	60	215.00%
	小計	525	414	126.81%	408	128.68%
総合計		15,045	15,239	98.73%	16,405	91.71%

千葉県自動車販売店協会調べ



情報アドバンス
千葉トヨタ自動車(株)

3. その他の動向

求人

有効求人倍率

(単位：倍、増減はポイント)

	前月	前々月	増減	前年同月	増減
銚子公共職業安定所管内	0.82	0.81	0.01	0.83	0.01
茂原公共職業安定所管内	0.70	0.68	0.02	0.56	0.14
いすみ公共職業安定所管内	0.77	0.73	0.04	0.47	0.30
成田公共職業安定所管内	0.96	0.94	0.02	0.67	0.29
佐原公共職業安定所管内	1.10	1.09	0.01	0.93	0.17
千葉県	0.93	0.92	0.01	0.86	0.07
常陸鹿嶋公共職業安定所管内	0.80	0.81	0.01	0.81	0.01
茨城県	0.95	0.90	0.05	0.87	0.08

有効求人倍率 = 有効求人数 ÷ 有効求職者数 × 100

ハローワーク銚子/茂原/いすみ/成田/佐原/常陸鹿嶋調べ

電力

電力使用量

(単位：千kwh)

	前月	前年同月	増減
東京電力銚子営業所管内総電力使用量	92,164	119,109	26,945
〃 (うち 動力使用量)	122,508	88,645	33,863

東京電力(株)成田支社調べ

倒産

当月における負債総額1,000万円以上の千葉県内企業倒産件数は34件。前月比+6件、前年同月比+3件。負債総額は157億円となり、前月に比べ85億円増と大幅に増加となった。倒産件数は、6ヶ月連続して前年同月を上回る結果となった。

7月の倒産会社の従業員数は436名で、平成16年8月以来23ヵ月ぶりに400名を突破した。なお、7月としては平成に入ってから4番目の多さとなった。

負債総額10億円超の大型倒産 4件

東金市のディスカウントストア経営「木原商事(株)」(負債総額52億7800万円)

成田市のハイヤー・タクシー業「松崎交通(株)」(負債総額32億円)

若葉区のコンクリート2次製品製造販売「藪塚建材興業(株)」

(負債総額約24億6900万円)

藪塚建材興業(株)の関連会社で管工事業者の「第一管工事(株)」

(負債総額約10億7000万円)

原因別では不況型倒産の典型である「業績不振」によるものが24件と大多数を占めた。

(東京商工リサーチ・千葉県内企業倒産状況より)

本誌作成にあたってのデータ参照先

銚子市漁業協同組合

銚子商工会議所

株式会社 東京商工リサーチ

国土交通省 統計情報

千葉県自動車販売店協会

千葉トヨタ自動車 株式会社

ハローワーク銚子

ハローワーク茂原

ハローワークいすみ

ハローワーク成田

ハローワーク佐原

ハローワーク常陸鹿嶋

東京電力 株式会社 成田支社

(順不同)

その他掲載データは当金庫独自の調査によるものです。

発行；銚子信用金庫

編集；営業推進部

住所；〒288-8686 銚子市双葉町5-5

電話；0479-25-2121

F A X；0479-24-4591

E-mail；eisui@choshi-shinkin.co.jp

U R L；<http://www.choshi-shinkin.co.jp>